

初代館長針生一郎没後7周年記念  
金津創作の森 館藏品展  
1月20日(土)～3月4日(日)



「無題」  
(テープスィリ・スクゾーパー 1999 紙・パステル)



ライブペインティング  
(ミュージアム-2) (荒井良二 2012)

薪窯の窯出し作品  
12月3日(日) 創作工房「加越窯」



陶芸教室では、「楽焼」・「薪窯」・「作品展」がカリキュラムに組み込まれています。今年の作品展は3月17日(土)から25日(日)まで。

事業白書 vol.2

利用者数は115,591人(平成28年度)

金津創作の森は、森の中の美術館として野外展示の大型作品が13あり、森の緑と陰影に癒されながらの鑑賞は、都市型美術館にはない魅力としてファンを魅了しており、日々、美や癒しを求めて多くの皆さんが来館されます。その利用者数や効果は次のとおりです。

- **利用者数(平成28年度)**  
美術館 94,067人(レストラン9,205人含む)、ガラス工房 10,348人、創作工房 11,094人、その他 82人、合計 115,591人
- **社会的効果(平成28年度)**  
福井新聞の掲載 述べ89回・その他マスコミへの掲載など 述べ48回
- **経済効果(参考:平成19年度決算)**  
あわら市内へ 3億94,911千円・福井県内へ 17億2,923千円  
(「金津創作の森の経済的・社会的効果」執筆者福井県立大学教授・服部茂幸)



稲田朋美衆議院議員(中央)(ガラス工房)



ハフポスト記事(画像6枚、6画面構成で掲載)

また、「現代アート」と越前瓦の産地に由来する「ものづくり」を選択して集中投資する金津創作の森の運営方針は、「現代アートの聖地」として定評を得ており、多くの美術関係者などが視察に訪れています。

昨年、オンライン・メディアの大手ハフポスト(旧ハフィントンポスト)の記者(米)が来館し、美術館のシチュエーションや企画展に感動されて金津創作の森の特集を組むなど、ニューヨーク発の情報として世界に発信されており、今後のインバウンドが期待されます。

今年度は「大宮エリー展」「イラストレーション展」「河口龍夫展」を自主企画により開催して全国的に活躍する作家をご紹介してきましたが、今後も都市型美術館と遜色ない展示会を開催し、市のイメージアップのために情報発信を続けていきます。

■ 昨年11月、12月の視察、ビジター(敬称略)

ドミニク・ロンバルディ(ハフポスト記者)、金塚瑛(ニューヨーク在住の彫刻家)、シマカワヤスヒロ(彫刻家)、稲田朋美(衆議院議員)、土屋公雄(彫刻家・愛知県立芸大教授・武蔵野芸術大学客員教授・日大芸術学部客員教授)、長谷光城(作家)。奈良県産業振興センター、富山市ガラス美術館、黒部市美術館、金沢美術工芸大学、JR西日本福井支店、やなせたかし記念館などの関係者

■ 昨年11月、12月の全国誌掲載・全国放映など

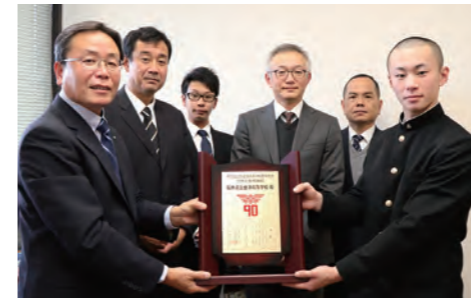
ハフィントン・ポスト、NHK日曜美術館(アートシーン)

- 月曜休館(祝日の場合開館、翌平日休館)
- (公財)金津創作の森財団 事務局 TEL.73-7800 <http://sosaku.jp/>
- アンビション(レストラン&森の結婚式) 問合せ アンビション TEL. 73-4141



目指せ! 甲子園

◆ 12月22日(金) 市役所



21世紀枠候補校選出報告



県大会優勝報告(9月)

金津高等学校野球部が、第90回記念選抜高等学校野球大会の21世紀枠候補校に選ばれました。秋の県大会での初優勝のほか、市内少年野球チームとの交流や清掃ボランティアといった地域での活動などが評価されての選出です。

この日、野球部の中橋朋希主将や監督ら5人が、候補校に贈られる盾を持って教育長を訪問。中橋主将は「盾をもらった時は、県大会で優勝した時と同じくらいうれしかった。みんな甲子園に出場できるのではと思っている」と語っていました。教育長は「選ばれたら、市にとっても大きなこと。ぜひ甲子園へ行ってほしい」と期待していました。

1月26日の選考委員会で、金津をはじめとする全国の候補9校の中から3校が選出されます。

あわら市防犯隊が  
年末特別警戒パトロールを実施

◆ 12月8日(金) 市内



市民の皆さんが安全で安心して暮らすことができるよう、105人の防犯隊員が、日ごろから青色回転灯を付けた車両で地域巡回などのパトロールを実施しています。

この日、歳末期を迎え、強盗事件などの未然防止と市民への防犯啓発を目的として、年末特別警戒パトロールを実施しました。

問合せ 総務課 安全対策室 ☎ 73-8040

まちかど graffiti では、広報係が取材した“あわらの話題”をお届けします!



男女共同参画について考えよう

◆ 12月3日(日) 中央公民館



「第14回あわら男女共同参画のつどい」を開催しました。男女共同参画に関する感謝状と図画のコンクール入賞者の表彰では、感謝状の朗読や入賞者へのインタビューも行われ、作品に込めた思いが伝わりました。

タレントの辻イト子氏による講演会「笑いと明るさで夫婦円満 心にゆとりを!」では、普通の主婦からタレントになった人生が面白おかしく語られ、会場は終始笑いに包まれていました。

餅つきでお年寄りと交流

◆ 12月13日(水) 金津雲雀ヶ丘寮



今年で42回目となる「餅つき交流会」が開催されました。坂井地区青年農業者クラブのメンバーが、新米とダイコンを提供し、施設で餅つきを実施。力強く餅をつく姿に、見守る入居者は「よいしょー」と合いの手を入れながら、喜んでいました。

また、今年88歳を迎える米寿の入居者3人も、赤いちゃんちゃんこに身を包んで餅つきに挑戦。クラブのメンバーや施設職員と一緒に杵を元気に振り下ろしていました。

この日ついたお餅は、その場でおろし餅にして利用者に配られたほか、残りは丸餅にして、正月明けに雑煮でいただくとのことです。